

西東京市教育計画（平成 31 年度～平成 35 年度）素案に関する説明会議事録

次 第	1 開会 2 教育企画課長挨拶 3 パブリックコメントについて 4 教育計画素案について 5 質疑応対 6 閉会
会 議 資 料	資料 1 西東京市教育計画（平成 31（2019）年度～平成 35（2023）年度）（素案） 資料 2 西東京市教育計画（平成 31（2019）年度～平成 35（2023）年度）（素案概要）
記 録 方 法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
内 容	
<p>○開催日時 平成 30 年 12 月 1 日（土）午前 10 時～</p> <p>○開催場所 西東京市役所保谷東庁舎 地下会議室</p> <p>・参加者 0 人</p>	
<p>○開催日時 平成 30 年 12 月 4 日（火）午後 6 時 30 分～</p> <p>○開催場所 西東京市役所イングビル 3 階会議室</p> <p>・参加者 4 人</p> <p>参加者：アンケート調査を行った際に、学校とそれ以外のところに配布したということだが、学校以外のところの対象を抽出する方法は、どのように行ったか。また、その調査の結果でどのようなポイントがあり、どのように計画に反映したか。</p> <p>西東京市：小中学生以外については、青少年 400 人、一般市民 3,000 人に、住民基本台帳を基に、無作為抽出し、郵送で発送した。また、その結果としては、「学校は楽しいか」という設問で大きく変化があった。「楽しくない」と回答した人は、なぜ楽しくないのかということも考えながら、基本的な技能の定着を図って参りたいということで位置づけている。</p> <p>参加者：前回の計画と比較して、今回の調査で新たに見えてきたポイント、新しく取り入れたポイントを説明頂きたい。</p> <p>西東京市：今回の大きな目玉として、「子どもの心の健康の育成」を重視した。</p> <p>参加者：アンケート結果等もホームページのパブリックコメントのページに掲載してほしい。</p> <p>参加者：この教育計画に基づいた予算の見込みが、今の時点ででているのか。</p> <p>西東京市：今後調整を図っていく。</p> <p>参加者：指標の設定はどのような形になっているのか。また、評価のタイミング、方法、評価は毎年行われるのか。</p> <p>西東京市：長期的な視点と、短期的な参考指標を用いた複合的な進捗確認を行っていく。定期評価の短期的なものは、毎年点検・評価でできるが、長期的なものについては、次回の教育計画策定の際のアンケート調査の中で行っていく。</p>	

内容

参加者：現在、学校では家庭訪問は実施されていないが、子どもの心のケアに関して、家庭環境を知るといことは、必要な取り組みだと思う。今後、復活する見込みはないのか。また、部活動の指導員の配置について、全校で取り組むと聞いているが、実際に実行できる見込みはあるか。

西東京市：家庭訪問に関しては、学校の流れとして、学校選択制度が本市に限らず全国的に広がり、学区が広がった。また、実際には保護者の意向として、圧倒的に家庭訪問を嫌がる方が多いという傾向となった。

部活動の指導員については、すべての学校に1人配置する予算をとっており、平日も土曜日等の練習にも参加していただけるような予算は確保しているが、現在苦慮しているのは、適任者がなかなか見つからないということである。市としても何らかの支援を今後検討していかなければいけないということで、模索しているところである。

参加者：「家庭教育に関する学びの機会の充実」について、1行目に「家庭教育支援のネットワークを生かし」とあるが、このネットワークとは実際に公民館や図書館ということか。

西東京市：公民館では、地域連携ということで、現在、地域の方たちにいろいろな努力をしていただいているが、子どもたちが置かれている状況は地域の中で見えてこないというところがある。地域の方と地域に子どもを抱える保護者が同じ土台に立ち、同じ学習をするということで、協力関係や信頼関係を生み出していくということ、まず行っていくことが必要だと考えている。

西東京市：図書館については、例えば、児童館、保育園の子どもたちとも読書の楽しみを分かち合いたいと考えている。同時に、保護者の方に対しても同じようなサービスを考えている。

参加者：どうしても、「家庭の中の教育」と言われると、保護者としては「自分がしっかりしなければいけない」「自分の家庭のことかな」と思いがちなため、「家庭だけに関わらず」という説明のしかた、周知のしかたができると、「家庭の中だけで、家族だけで」と苦しまずにすむように思う。家庭での教育を押し付けているような伝わり方でない表現のしかたを望む。

参加者：項目に「新規」とか「拡充」とか書き込んであるとわかりやすいと思う。

参加者：教育計画策定懇談会の資料等をすべて公開していただきありがたいが、時期の遅れがあり、すべての会議が公開されていない。また、会議録をみると、行政の説明の部分が「何々について説明」という表記になっている。その後の委員のご意見しか載っておらず、前提の説明の内容がわからないので、なぜこのような議論になったのか、わかりにくく感じる。

参加者：7ページのコラムで、子ども条例についても説明しているが、教育委員会で条例ができたことを踏まえ、どのようなアクションをしていくのかということは、話し合われているか。

西東京市：子ども条例については、最初の取り組みとして、今月から、教職員向け、そして子ども職員向けに研修を行っていく。各学校の先生方に説明していただくという形で浸透を図っていききたい。

参加者：そのようなものが、この計画の中に盛り込まれていくことはあるか。

西東京市：そこは市長部局との連携のため、まだ書き込むことがないできない。私どもでも認識しているので、しっかりと取り組んでいきたい。